

受験者 氏名	けいちゃん
-----------	-------

受験者シールのバーコードシール  
1枚をこの上に貼り付けてください。

所要時間 49分

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在57才で定年まであと3年である。先日、自分のキャリアを振り返る社内研修を受けた。受講前は65才で定年雇用で働くつもりだったが、これからのセカンドキャリアについて相談したい。

1行目: 予かした点, 2行目: 悪かした点

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

- ① 「これからどうしようかと不安を感じていると察する相談者に寄り添い、傾聴ができた点。
- ② 相談者の気持ちを理解したことが由に相談者にとって答えが不明な問題をしてしまっ点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 相談者の問題は2つある。(1)定年後について今更具体的な考えておらず、中長期的な視点が不足している点。(2)若し従業員や仕事に対して思い込みがある点。
- ② その根拠 (1)「ありをこうにと考えてこなかった」「あたり前のように65才まで働くと思っていた」「時間軸で中長期的視点がなかった」等の発言から。(2)「若し従業員はよく理解したけれど、サポートを入手にできず」「仕事は楽しめたのはいいが」等の発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

「これからどうしようかと」考え始めた相談者に寄り添い、傾聴し信頼関係を構築する。そのうえで(1)社内研修で学んだ内容も含めて、改めて現在までの自身のキャリアの相談しを行う。また、相談者が希望すれば、自身の強みや得意なことがわかる、再雇用以外の新しいキャリアについて一緒に考え情報提供を行う。(2)相談者が仕事で入社していることや若し従業員に対して感じていることを語り直し、今後の取り組みの内容を促す。最終的に相談者の最適なセカンドキャリア選択を支援する。

注: 解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。